

平成31(2019)年度 長期モニタリング計画 (案)

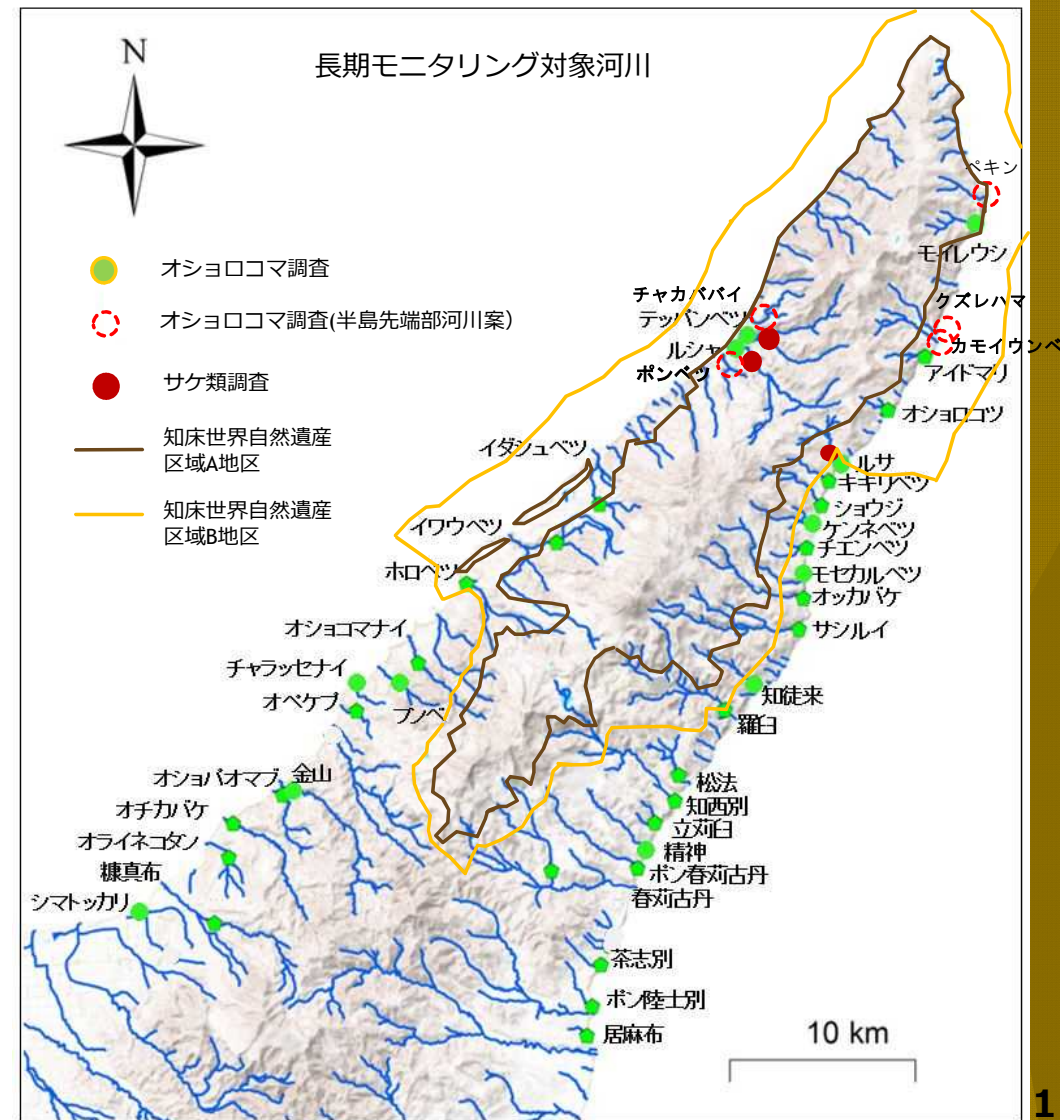
資料 4

・ 知床世界自然遺産地域科学委員会で定められた、知床世界自然遺産地域長期モニタリング計画に基づく調査を継続実施

平成31(2019)年度
河川工作物アドバイザー会議で実施するモニタリング



モニタリング番号	モニタリング項目	調査実施主体	調査実施河川	調査実施期間
17	「河川内におけるサケ類の遡上数、産卵場所および産卵床数モニタリング」 (以下、「サケ類調査」という。)	林野庁	ルシャ川、テツパンベツ川	8月中旬頃～11月上旬頃まで
		北海道	ルサ川	
18	「淡水魚類の生息状況、特に知床の淡水魚類相を特徴付けるオシヨロコマの生息状況(外来種侵入状況調査含む)」 (以下、「オシヨロコマ調査」という。)	林野庁	半島内37河川	6月下旬頃～10月中旬頃まで



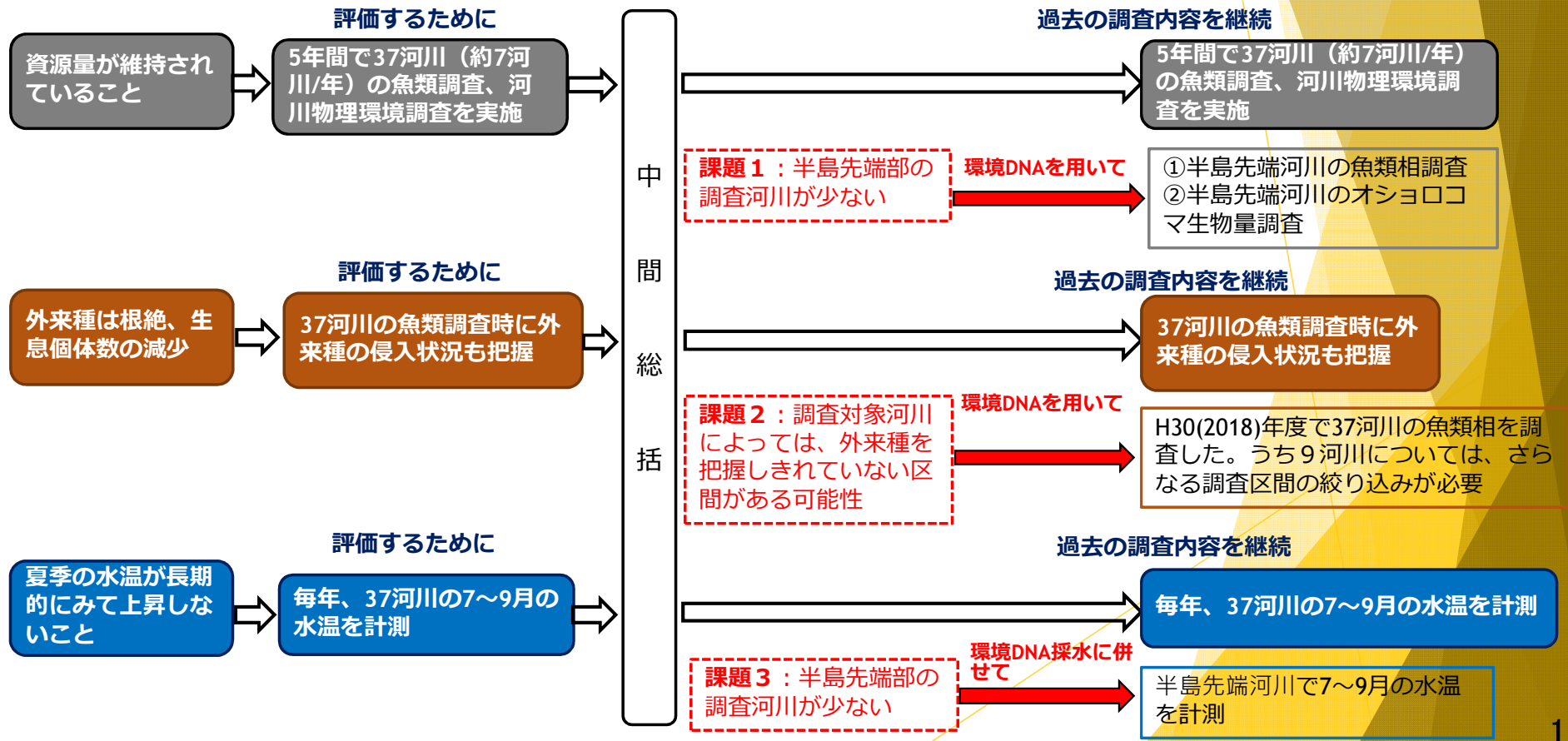
試行的導入した環境DNA調査デザイン

I 目的：環境DNA調査により長期モニタリングの補完・充実を図る

3つの評価基準

H25 (2013) ~ H29 (2017)

H30 (2018) ~ H34 (2022)



課題2：外来種を把握しきれていない区間がある可能性

について

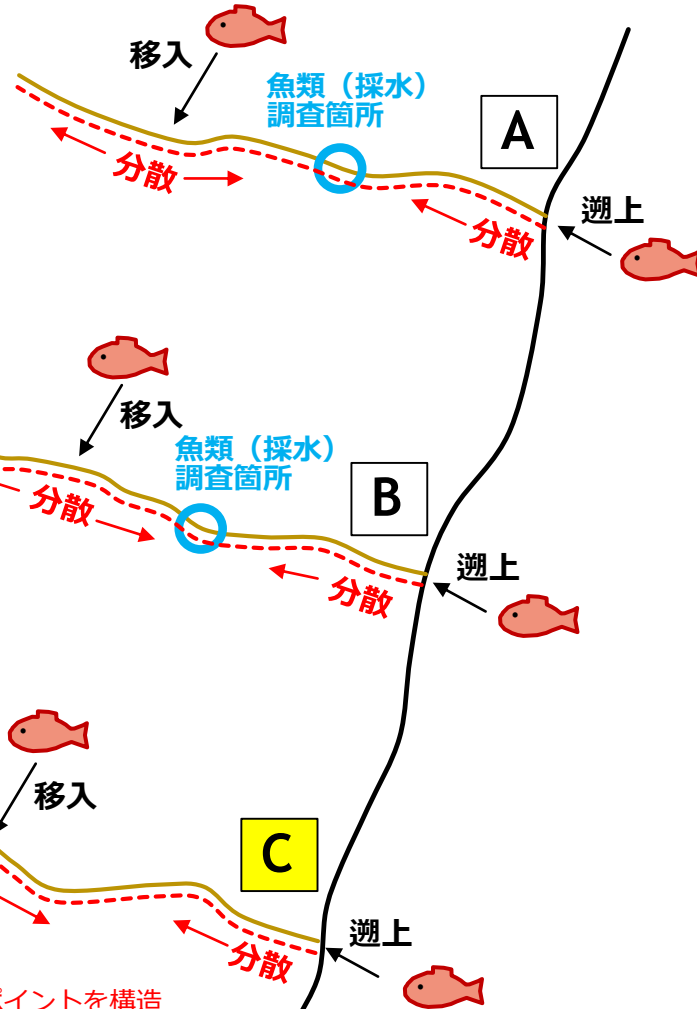
外来種の侵入・分散のイメージ

例：モイレウシ川、
テッパンベツ川など

例：オッカバケ川など

魚類（採水）
調査箇所

絞り込みでは、採水ポイントを構造
物等の下流に設定する。



遡上不能な河川工作物（又は滝）の
有る無しと魚類調査箇所の関係は、
大まかに **A** **B** **C**
の3パターンに区分

- **A**、**B** の場合は、魚類調査で
外来種の把握が可能と判断

調査区間の絞り込み河川



- **C** の場合は、外来種が把握しきれ
ていない可能性がある。ただし、河口
から河川工作物までの距離が短い
ケースや滝などの自然物がある場合
は除く。



【37河川の内、該当と思われる河川】

斜里町側：フンベ川、オペケプ川、金山川、
オショパオマブ川、オチカバケ川、
糠真布川
羅臼町側：ケンネベツ川、モセカルベツ川、
精神川















以上9河川

Ⅲ 環境DNA調査スケジュール（案）

 は採水
 は解析

 は必要に応じて採水
 は必要に応じて解析

【 月】は採水の時期

項目	H30(2018)	H31(2019)	H32(2020)	H33(2021)	H34(2022)
1. 採水（サンプリング）	 既往調査37河川【6月+魚類調査8月の9河川】と半島先端のペキン川(10月)	  Cの9河川【6月】 	37河川【6月】 + 半島先端5河川【6月、10月】 		
2. 魚類相調査（外来種調査含む）【メタバーコーディング解析】	 既往調査37河川【6月+魚類調査8月の9河川】と半島先端のペキン川(10月)	 半島先端5河川【6月】  Cの9河川【6月】 	37河川【6月】 + 半島先端5河川【6月、10月】 		
3. オショロコマ生物量調査【種特異的解析】		 各年：半島先端5河川【6月、10月】 	各年の魚類調査6～9河川【8月頃】 		
4. 半島先端部の水温調査【水温ロガー計測】		 各年：半島先端5河川（6月にロガー設置、10月回収）			